

重点施策2 環境教育・ネットワーク

2-1 目標：環境教育、環境学習の充実を図ります。

2-1-1 アイドリングストップなどの啓発（担当課：財務課、環境課）

【事業内容及び指標等】

役場庁内の省エネ対策の一環で、財務課の公用車管理に伴う燃料消費削減に努めます。

【実施状況】※財務課報告分のみの結果

ガソリンの平成 20 年削減率が目標値の 14.2%（年度途中で目標是正措置あり）、軽油が 14.1%となりました。ガソリンは、平成 19 年度よりも業務回数が若干増えたことと 1 回の走行距離が長くなったために給油量が増えましたが、軽油は、業務回数が減ったことにより給油量が減っております。

（単位：リットル）

項目	16年度実績	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度実績	前年度との比較
ガソリン	5,109	5,036	4,936	4,450	5,246	796 増
軽油	7,824	7,122	6,625	8,036	7,119	917 減

【評価と今後の取り組み】

これからもアイドリングストップの徹底、公用車管理における燃料消費削減を図るべく、啓発運動を定期的に呼びかけるなどしていきます。

2-1-2 総合学習の活用（担当課：学校教育課）

【事業内容及び指標等】

各学校では、理科、社会、家庭科、技術家庭科等、すべての教育活動を通じて環境教育に取り組んでいます。特に、小学校の「総合的な学習の時間」においては、環境教育に係る地域や各学校の特色を生かした体験的な学習を推進しているところです。

【実施状況】

「総合的な学習の時間」を活用し、各学校で外部講師等を招き、環境教育・環境学習の取り組みを子供たちが自主的に行いました。

村が予算面で支援した主な活動は次のとおりです。

- ・篠木小学校（田植え、稲刈り、脱穀、学区探検 等 6 件）
- ・滝沢小学校（元村博士になろう、米々大作戦 等 10 件）
- ・滝沢第二小学校（郷土の宝発見、稲作体験 等 11 件）
- ・鶴飼小学校（米博士になろう、りんごはかせになろう 等 13 件）
- ・一本木小学校（そばの種まき、刈り取り、脱穀、そば打ち体験 等 5 件）
- ・姥屋敷小中学校（そば蒔き、そば刈り、そば脱穀、そば打ち体験 等 9 件）
- ・柳沢小中学校（農業体験学習 等 14 件）
- ・滝沢東小学校（森林をさぐる 等 1 件）
- ・一本木中学校（農園活動 等 2 件）

【評価と今後の取り組み】

「総合的な学習の時間」は、子供たちがさまざまな分野の中から課題を決めて学習することになりますが、各学校では環境教育に関わる内容も取り上げて授業をしています。

環境教育については、理科、社会、家庭科、技術家庭科等、すべての学校で教育課程に位置付けて取り組んでいますが、行政としては各学校の環境教育が一層充実するよう継続して支援に取り組んでいきます。

2-1-3 出前講座（担当課：生涯学習課）**【事業内容及び指標等】**

出前講座は、職員の専門知識を地域活動へ役立てようという趣旨のものに行われていています。そのメニューの中に環境学習に関するものを用意し、環境教育の振興に役立てるものです。「環境学習のメニューを継続して用意すること」と「環境学習に関する出前講座メニューの利用を促進すること」が目標となっています。

【実施状況】

平成20年度における環境教育、環境学習に関する出前講座は4件で、受講者は110人であり、地域住民による環境学習が行われています。

月日	講座メニュー	団体名	受講者数
6月22日	地球にやさしい省エネライフ	元村南自治会	30人
7月11日	地球にやさしい省エネライフ	滝沢第二中学校	40人
9月4日	ごみの出し方・分け方について	みどり団地自治会	30人
12月16日	地球にやさしい省エネライフ	みたけの園	10人

なお、平成19年度における環境に関する出前講座は3件で受講者数は85人でした。

【評価と今後の取り組み】

環境に関する講座は、平成17年度は1件、平成18年度は2件、平成19年度は3件、平成20年度は4件と少ない受講数ながらも継続して利用されています。今後も、講座に関する相談・問合せがあった際等を利用し、環境関係講座をPRし、環境教育を推進していきたいと考えています。

2-1-4 青空教室（担当課：環境課）**【事業内容及び指標等】**

村内の小学生（4年生）を対象に、ごみ処理施設、資源回収施設、最終処分場を見学していただき、「ごみの収集、処理、回収、処分」の一連の流れを視察体験することにより、ごみの適正な処理及びごみの減量化、リサイクルのあり方を学んでもらいます。

【実施状況】

村内小学4年生	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	前年比較
見学児童数 (人)	581	585	549	543	589	723	129

【評価と今後の取り組み】

各学校の児童数の減少等により、見学児童が減少した年度もありましたが、毎年500人以上の児童に施設見学という実体験を通して環境について学んでもらっています。

この取り組みは、環境教育・環境学習に関する理解を深める上で効果があると考えられるため、継続して取り組みたいと考えています。

2-1-5 環境講座（担当課：生涯学習課、学習支援課）**① 環境講座「滝沢村の野生生物について」～「滝沢村野生生物分布調査報告書」より****【事業内容及び指標等】**

環境講座は、多彩な面をもつ「環境」に関して、色々な切り口から学ぶために行っています。そのため、年度ごとに内容の異なるメニューを用意するようにしています。

【実施状況】

村の文化事業において、「滝沢村野生生物分布調査報告書」がH18年3月に刊行されました。配布は関係者のみに行いましたが、その内容をより多くの方に知っていただくため、湖山図書館で閲覧できるほか、ダイジェスト版は村のHPでご覧いただけます。

【評価と今後の取り組み】

滝沢村野生生物分布調査報告書の内容を広く村民に知ってもらうことにより、自然保護に対する意識の高揚につながるものと考えます。

② 少年少女自然教室「昆虫教室」**【事業内容及び指標等】**

昆虫教室は、小学校高学年を対象に身近な自然の中に生きている昆虫の生態について知り、その飼い方を学びながら自然の営みの不思議さと素晴らしさ、自然への理解を深めることを目的としています。

【実施状況】

- ・内容 1回目（7月26日） 遠野・虫のギャラリー館見学：講師採取の標本スライドによる生態と分布状況等の学習
- 2回目（7月29日） 盛岡市動物公園公社：技師による説明と実技
カブトムシ・クワガタの飼い方、繁殖の仕方等

・参加人数 1人

【評価と今後の取り組み】

「虫のギャラリー館」では、講義と館内の見学を行いました。地球の温暖化と昆虫の分布状況の変化、体の各部の構造や動きなどをスライドを使って丁寧な説明を受けました。参加児童は、興味深く質問したり、何度も何度も往復しながら見学していました。

2日目の研修については、公民館に講師を招いて行う予定でしたが、参加者が1名ということで、講師のいる盛岡市動物公園内に出向いて園内の動物資料館で行いました。動物公園では繁殖を手がけており、実際飼育している幼虫をみせたり、経験に基づいた説明は、参加児童を満足させてくださいました。

2-1-6 環境学習「もったいない運動たきざわ」（担当課：環境課）

【事業内容及び指標等】

循環型社会の構築に向け、村のごみ処理の現状を住民へ情報提供するとともに、身近な環境問題に対する実践活動の情報共有を図り、環境保全活動の活性化を図ることを目的に、平成20年度環境フォーラム「たきざわ“もったいない”学習会」を平成21年3月1日に開催しました。



写真＝盛岡農業高等学校の林業研究班の発表

【実施状況】

基調講演「ガラスびんの3Rの現状と課題」や、環境美化絵画コンクールやモデルごみステーションの表彰、盛岡農業高等学校 林業研究班9名による「母なる大地に緑の衣を」～スーパー植物を活用した環境浄化に関する研究～と題した活動発表を行いました。

この内容は、旧松尾鉱山跡地を緑化し、自然の力を活用して北上川の清流化を目指す取り組みを行った研究であり、日本学校農業クラブ全国大会プロジェクト発表で最優秀賞並びに文部科学大臣奨励賞等を受賞しています。

【評価と今後の取り組み】

環境をテーマとしたこのようなイベントは4回目となります。

参加者が150人と、年々来場者が多くなってきていますが、さらに参加者を増やすように展示内容・展示品も含めて内容を検討する必要があると考えています。

2-2 目標：住民、住民団体、事業者、行政による 環境ネットワークの構築を図ります。

2-2-1 たきざわ環境パートナー会議（担当課：環境課）

【事業内容及び指標等】

平成16年7月25日に、住民、住民団体、事業者、村が協働して環境の保全と創造について意見交換する場として「たきざわ環境パートナー会議」が設立され、様々な実践活動をしています。

【実施状況】

平成20年度は、5月16日にパートナー会議総会が開催され、役員の変更、事業報告と計画などが審議・承認されました。進行管理委員会は3回開催され、滝沢村環境基本計画の進捗具合を検証し、年次報告書の案を作成いたしました。

平成20年度は初めてパートナー会議が主体となり開催した講演会や、冬至の日に実施した「キャンドルナイト in 滝沢」は、参加者からも好評をいただきました。

さらに村内の子ども会育成会で開催した「夢あかり」事業に参加し、環境保全について多くの方の賛同が得られました。

また、各部会から立ち上がりました2つのプロジェクト、リユース食器によるごみ減量大作戦、ホテル探検隊は、前年にもまして活動が活発化し、広報による呼びかけなどにより参加者が多くなってきています。

・講演会「地球環境スライドショー～エコロジストたちの詩」



地球温暖化防止に向けたCO2削減活動の一つとして開催され、エコロジストの松本英揮氏を講師に迎え、約100人の皆さんが参加。松本氏は、世界100カ国以上の国々の自然や環境に対する取り組みなどを、150枚以上のスライドと軽快な語り口で伝えてくれました。

(写真左=松本氏は自転車で移動しています)

(写真右=みたけの園の皆さんによる「夢あかり」)



・「キャンドルナイト in 滝沢」

キャンドルナイトは、村民全体で二酸化炭素の削減を行い、地球温暖化防止に取り組む事を目的に企画しました。具体的には、冬至の午後7時30分から8時30分までの間、各家庭で不用な電気類を消していただくよう呼びかけ、二酸化炭素の削減を図りました。

同時開催イベントの「星を眺める会」では、村役場の屋上から村民の皆さんのキャンドルナイト参加状況を目視しました。定時の時間で消える各家庭の電気を見た参加者からは歓声があがりました。

その他、パートナー会議会員による星の光から考える身近な環境についての講話「村の里、街の星、山の里」が行われ、自然の素晴らしさを実感しました。

また、障がい者支援施設「みたけの園」の皆さんが役場玄関前で「夢あかり」を用意し、キャンドルナイトを盛り上げてくれました。

・リユース食器によるごみ減量大作戦

平成20年度滝沢村産業まつりにおいても、プロジェクト自ら食器の貸出及び洗浄を行い、参加した企業への貸し出しによるPR、食器利用者にもゴミの減量に役立つことをアピールしました。またコーヒーの陶磁カップと紙カップとの飲み比べを行い、使い捨てでない物の良さを実感していただきました。

・ホテル探検隊

滝沢村の自然環境をホテルに焦点を当てて調査し、ホテルマップを作成。小岩井農場でホテルを観察し見分け方、生息環境を学習(学習)、柳沢地区でゲンジボタルを観察。大崎地区のホテル観察会では前年をはるかに上回る延べ約250人が参加。その他に、カワシンジュガイやサクラソウなどを含め河川調査も行いました。

【評価と今後の取り組み】

平成20年度は、滝沢村民全体で地球温暖化について認識を高め、村全体で取り組むことを計画し実践したことは、一歩前進した活動だったと思います。

今後は、より村内に浸透するように活動を工夫し継続していきたいと思います。
なお、平成 21 年度はさらにプロジェクトが増え活動の輪が広がりつつあります。

・・・滝沢村環境基本条例より抜粋・・・

(環境パートナー会議)

第 33 条 滝沢村の良好な環境の保全と創造のために、住民等および村が協働して取り組む組織として、環境パートナー会議を設置する。

2-2-2 環境基本計画の推進 (担当課：環境課)

【事業内容及び指標等】

平成 16 年度の「たきざわ環境パートナー会議」の設立を受け、組織として環境基本計画の推進に取り組みます。

【実施状況】

パートナー会議進行管理委員会は 3 回開催され、滝沢村環境年次報告書の原案や作業スケジュールを協働で検討したり、進行管理委員会の役割などが話し合われました。

【評価と今後の取り組み】

住民との協働が現実のものとして育っています。

協働で行う環境年次報告書の原案づくりの仕組みが構築されましたので、今後も引き続き年次報告書及び基本計画の推進に取り組みます。

2-2-3 環境ボランティアの育成 (担当課：環境課)

【事業内容及び指標等】

環境ボランティアを育成し、環境保全活動への参加を支援します。

【実施状況】

平成 20 年度は環境パートナーの個々のプロジェクト活動に賛同し、ボランティアとして参加くださった方がおりましたが、継続した活動への支援までには至りませんでした。

【評価と今後の取り組み】

環境問題に対して、住民、事業者、村がそれぞれの役割を果たしつつ、お互いに補完・協力し合いながら取り組んでいく必要があることから、環境ボランティアの育成が大切だと考えております。

2-2-4 環境パートナーシップいわてとの連携 (担当課：環境課)

【事業内容及び指標等】

環境保全活動のネットワークづくりを進めるために、環境パートナーシップいわてとの連携を深めます。

【実施状況】

環境パートナーシップいわてには、設立 (平成 14 年度) 当初より団体加入し、県内各地の活動団体等の情報等が得られています。

【評価と今後の取り組み】

環境パートナーシップいわてのイベントやシンポジウムなどへの参加、環境トピックスな

どの情報提供などを受けながら、ネットワークづくりに努めていきたいと考えています。

なお、環境パートナーシップいわてについてはホームページをご覧ください。

(<http://eco.soc.or.jp/kanpai/kanpai.html>)、(<http://kan-pai.org/>)

2-2-5 活動団体の支援1（担当課：住民協働課）

【事業内容及び指標等】

地域発想による地域づくりの実現と、地域コミュニティの企画立案力及び事業実施力の養成を目的に、各地域まちづくり推進委員会が行う環境関連活動への支援（補助金交付、会議出席・助言、関係者仲介）を行います。

【実施状況】

【大釜】八幡館山歴史史跡環境整備事業（平成20～21年度の継続事業）

- ・中世の遺跡である八幡館山の草刈等の環境整備

【篠木】田村神社周辺の水路敷き環境整備（平成17年度からの継続事業）

- ・越前堰用水路法面のアヤメ等による緑化、草刈等の環境整備

【大沢】せせらぎ水路整備事業（平成18～21年度の継続事業）

- ・環境に関する講演会、視察研修
- ・生物繁殖スポット、親水スポット等水路整備工事（平成19年度実施）
- ・水草、水辺植物の植栽及び水棲生物の育成（平成20年度実施）
- ・親水スポットの環境整備工事（平成21年度計画）

【鶉飼】チャグチャグ馬コロードアヤメ植栽事業（平成18～21年度の継続事業）

- ・アヤメの植栽・株分けによる道路美化事業

【元村】元村地域河川清流化推進事業（EM）（平成18～21年度の継続事業）

- ・EM使用による河川清流化

【元村】平蔵沢堤環境整備事業（平成19～21年度の継続事業）

- ・江戸時代の灌漑施設である平蔵沢堤の整備と桜のテングス病の駆除

【東部】巢子川河川清流化事業（平成16年度からの継続事業）

- ・EM菌の培養、放流
- ・水棲生物調査
- ・水質検査

【東部】植物での安らぎ地域づくり推進事業（平成16年度からの継続事業）

- ・村の花であるヤマユリや菜の花の植栽、増殖

【柳沢】自然環境の創造事業（平成16年度からの継続事業）

- ・岩手山麓への広葉樹の植樹

【柳沢】景観形成住民協定づくり（平成16年度からの継続事業）

- ・柳村の景観を守るため住民、企業などに働きかけ景観形成住民協定の締結

【一本木】通学路環境整備事業（平成17年度からの継続事業）

- ・一本木地区の通学路の草刈等を行い環境美化と生徒の安全を確保

予定どおり11事業を実現させることができました。

【評価と今後の取り組み】

村としては、EMに取り組む地域間交流の仲介や講演、視察等の講師紹介など、各地域団体の活動を支援し、成功させることができました。地域においては、経験を重ねることによって、企画力・実践力をつけてきたと評価できます。

平成21年度は、地域と村事業担当課との協働が更に推進していくように、情報提供・支援をおこなっていきます。（『地域ビジョン』の推進）

※EM・・・Effective Microorganisms の略語で、有用な微生物群という意味。自然界から採取し、抽出、培養した微生物です。

2-2-6 活動団体の支援2（担当課：経営企画課、環境課）**【事業内容及び指標等】**

北上川流域及び北上川支流における調査活動や清掃活動などを通じて、環境保護の大切さを学ぶことを目的としました。

- ・川健康診断（水生生物調査）
- ・水生生物調査（市兵衛川）

「川健康診断」と「水生生物調査」、それぞれに参加した児童全員の感想文提出を目標とします。

【実施状況】

- ・川健康診断（水生生物調査）・・・「川健康診断」の主催者である北上川流域市町村連携協議会を平成19年3月に脱会したため、経営企画課で現在取り組んでいる事業は無くなりました。
- ・水生生物調査（市兵衛川）・・・平成20年度におきましては、滝沢小学校と連携し実施する計画で進めましたが、天候に恵まれず、水位が高い状態が続いたため中止を余儀なくされ、実施できませんでした。

【評価と今後の取り組み】

例年、環境課で行う河川底生生物調査に日程を学校側で合わせていただき、実施してまいりました。この活動は各小学校を順に続けてきたもので、可能なかぎり実施していく方向で考えています。